



2023年 9月 29日

たてくろジオパーク だより 第62号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー 1 1 1 ビル 1 階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/



https://facebook.com/tatekuro

☆ 第10回日本ジオパーク中部ブロック大会



9月20, 21日に第10回日本ジオパーク中部ブロック大会が苗場山麓ジオパーク（新潟県津南町）で開催され、立山黒部ジオパークからは、ジオガイドさんと事務局計7名が参加しました。

1日目は、初めに桑原悠町長から歓迎の挨拶があり、次にテーブルごとに津南小学校6年生の児童たちと意見交換会を行いました。内容は、児童たちが苗場山麓ジオパークを紹介し、参加しているジオパークからもそれぞれ紹介した後、ジオパークの素晴らしさについて意見交換をしました。次に、「ジオパークにおける防災学習、アクティビティーについて」のテーマで、鳥海山・飛島ジオパークの大野希一氏の基調講演を拝聴しました。続いて、同じテーマで各ジオパークから取り組みを紹介し、さらにパネルディスカッションを行いました。夜は、情報交換会を行い、参加者が楽しく各ジオパークの特徴や取組を語り合いました。

2日目は、ジオツアーとして「ジオラフティング」と「災害地を巡るツアー」に別れて研修を行いました。「ジオラフティング」では、近くを流れる信濃川で川下りをしながら、左岸と右岸の河岸段丘の地層を見学するとともに、大雨による増水によって大きな水害があったことや、治水のために進められている護岸工事について学びました。「災害地を巡るツアー」では、信濃川展望地、中条川崩壊地形、震災復興祈念館「絆」、川の展望台を見学しました。度重なる信濃川の氾濫による被害の記録や2011年3月12日の長野県北部地震による被害と復興について学びました。



10・11月のジオパーク散歩

第14回 [家族でジオパーク散歩 in 生地] 〈美しい清水のヒ・ミ・ツとは？〉

※参加対象は小学生とその家族です。子供のための参加はできません。

- ・日 時 10月7日(土) 10:00～12:00 (受付9:30～)
- ・集合場所 生地コミュニティセンター前
- ・見学場所 生地地区内の水めぐり
- ・申込期限 10月3日(火)

第16回 [日本一小さい村【舟橋村】でジオパーク散歩]

- ・日 時 10月14日(土) 10:00～12:00
- ・集合場所 富山地方鉄道越中舟橋駅前 (受付9:30～)
- ・見学場所 舟橋駅前～無量寺～竹内天神堂古墳～宮塚古墳～若王子塚古墳～清水堂大塚古墳
- ・申込期限 10月10日(火)

第15回 [ジオパーク散歩 in 称名滝] 〈称名滝の段差はなぜできた？〉

- ・日 時 10月10日(火) 10:00～11:30
- ・集合場所 称名平休憩所前 (受付9:30～)
- ・見学場所 展示館～称名遊歩道～滝見台園地 (天候により展示館にて解説)
- ・申込期限 10月4日(水)

第17回 [ジオパーク散歩 in 名勝園家砂丘 (入善)] 〈白砂青松の砂丘を散策しながら「海岸侵食と水の恵み」について考えよう！〉

- ・日 時 11月11日(土) 10:00～12:00
- ・集合場所 園家山キャンプ場駐車場 (受付9:30～)
- ・見学場所 侵食が激しい「下新川海岸」
「氷河の一滴」が飲める「園家湧水」
地下水面が見える「地下水の水位標柱」
砂山にある「一等三角点本点」
- ・申込期限 11月7日(火)



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



8・9月の活動より

8/30 ジオパーク散歩 in 大岩山日石寺

～凝灰岩の巨石に彫られた「不動明王磨崖仏」～



8月30日に「ジオパーク散歩 in 大岩山日石寺」を行いました。日石寺駐車場からスタートし、三重の塔、夫婦岩、千巖溪（せんがんけい）、本堂、六本滝、十二支滝の順に巡りました。まず、夫婦岩では、ガイドからこの山が凝灰岩で出来ている特徴的な景色であることを学びました。次に訪れた千巖溪は樹木に囲まれた溪谷でした。ここ最近まとまった雨が降っていないにもかかわらず、水量は多く、天然のクーラーのような涼しさでした。また、岩の多くが苔に覆われており、神秘的な場所でした。続いて、百段坂を上り、本堂で不動明王磨崖仏を見学しました。凝灰岩の巨石に高僧「行基」によって彫られた磨崖仏です。3mを超える不動明王は「右手に力を現す剣」「左手に智を現す羂索（けんさく）」を持っているとされています。その後、六本滝に向かいました。六本滝は、千巖溪で行っていた滝行の安全確保のため明治元年に境内に建設されたものです。高さ5.4mの滝では、実際に滝行を体験することができます。また、滝の前には、その年度内に何人の方が体験したかをカウントする掲示物もあります。（ちなみに、このときは1,348人でした）最後に、十二支滝を見学し、解散しました。参加者からは、「地元に住んでいるが、改めて大岩はいいところだと思った」などのご意見をいただきました。

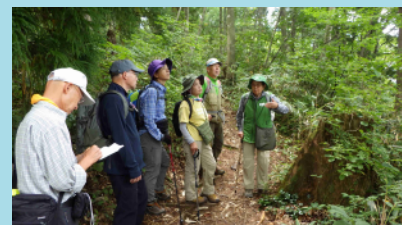
9/2 片貝川（片貝川中流域）ジオパーク散歩

～水循環遺産を巡ってみよう！～



9月2日に「片貝川ジオパーク散歩」（魚津市）を行いました。8月のような猛暑ではありませんでしたが、まだ蒸し暑さが残る中で行われました。一行は、新川文化ホールに集合し、貝田新円筒分水、黒谷頭首工、東山円筒分水槽、高円堂用水を訪れました。東山円筒分水槽は、富山県で初めての円筒分水槽であり、貝田新の円筒分水から分水した水は、水路トンネルで東山円筒分水槽につながっています。国登録有形文化財に登録され、現在も使用されています。この歴史ある円筒分水槽は、本来であれば、水が噴きあがりあふれ出す様子を見ることができますが、猛暑と少雨の影響で、その姿を見ることはできませんでした。参加者からは、驚きとともに、その美しい光景をみることができないことに残念がる声が上がっていました。最後に高円堂用水を見学しました。ここは、水のない天神野台地を開墾するため、江戸時代に造られたものです。崩れやすい土砂の性質から、かなりの難工事であったことなどをジオガイドから学びました。参加者からは、「魚津と言えば、水や海というイメージがあったが、このように新たな一面をみることができた」と「(ジオ)ガイドの方に解説してもらえないとわからないことが多かった」という意見をいただきました。

9/5 美女平ジオパーク散歩 ～大地と巨木～



9月5日に美女平ジオ散歩を行いました。美女平駅で散策コース内の巨木について説明を受けた後、実際に散策コースに向かいました。最初は曇空でしたが、進むにつれ晴れ間となり、暑さを感じる天気となりました。前日まで降っていた雨の影響で、地面は少し滑りやすくなっていました。散策コースに入ると、高低差のある階段などがありましたが、徐々に歩きやすい道になっていきました。道中は、ジオガイドから巨木の歴史や、自生している植物などの話を聴きながら約2時間半の散策のなかで、5本のスギ（出迎え杉・子育て杉・おんばスギ・火災スギ・天涯スギ）をみることができました。

9/13 ジオガイドスキルアップ研修 ～富山の地形・地質～



9月13日にジオガイドスキルアップ研修を行いました。講師に富山大学都市デザイン学部准教授の安江健一氏を迎え、「富山の地形・地質」をテーマとする講義でした。

講義では、富山周辺の地形の話や、県内の跡津川断層を例に、県内の活断層の特徴などについてお話しいただきました。また、「地理院地図」（様々なマップを重ねられる）や「今昔マップ on the web」（昔の地図と現在の地図を一緒にみることができる）など、ガイドで活用できる便利なサイトなどもご教授いただきました。

最後に、富山大学とNPO法人まちづくりスポットが行っている「ブラとやま」（まちなかジオツアー）の説明がありました。2019年から富山市内で行われている事業内容を説明していただきました。なお、この事業には、当協会からもジオガイドを派遣し、共にまち歩きを行っています。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



8/25 なめりかわ未来学校 2023



滑川市と滑川市教育委員会は、市内の小中学生が街や多様な人と関りながら、滑川の未来をおもしろくするアイデアを自由に提案することを目的に「なめりかわ未来学校 2023」を開催しました。8月3日にオリエンテーションをし、その後、企業見学や滑川市内のフィールドワークを行い、それらをもとにアイデアを発表するという流れでした。フィールドワークの一つとして、早月川や扇状地、河岸段丘等滑川の地形や自然等について、ジオパークの観点で説明してほしいという依頼が立山黒部ジオパーク協会にあり、専門員が参加しました。早月川の水が枯れていたため急流を見ることができませんでしたが、スギノマシンの最上階にある会議室から早月川がつくり出した扇状地の扇頂部や河岸段丘を見ることができたりバスの中で早月川の特徴や化石についての解説を聞く中で、楽しく学びを深めていたようです。



8/26 自然保護センター講演会・観察会

令和5年度、立山自然保護センターでは年6回講演会・観察会を計画され、その中の2回は立山黒部ジオパーク協会連携事業として実施されました。8月26日には、富山市科学博物館 増淵佳子主査学芸員が「立山の美しさの秘密を石から探る」の演題で、立山の現在の地形は過去の火山活動によってもたらされたものであることや地形の違いは構成する岩石による影響が大きいこと、活火山の調査等の内容を話されました。観察会ではジオガイドがガイド役を務めました。参加者の皆さんは、解説を聞いて疑問点を尋ねながら、玉殿の岩屋付近の安山岩の板状節理や室堂山での花崗岩と安山岩との境界等を実際に見て回り、有意義な時間を過ごされたようです。9月16日に2回目が開催され、富山県立山カルデラ砂防博物館の白石主任学芸員が「里から山まで～立山の動物（哺乳類）～」の演題で立山連峰や山麓に生息する哺乳類の毛皮を実際に触れる体験をしながらの講演となりました。途中、クマに遭遇した時の対処法を参加者全員で体験する場やクマと人間が共生していくためにはどうしたらよいかを考える場等があり、参加者の皆さんの満足度は高かったようです。



8/29 立山町立釜ヶ淵小学校出前授業

8月29日に立山町立釜ヶ淵小学校の6年生が、立山町と隣接する上市町の稲村露頭を見学しました。理科の「大地のつくり」は、まだ学習していないため、立山黒部ジオパーク協会の専門員が地層や化石についての事前学習を行い、現地でのガイド役を務めました。子供たちは稲村露頭の迫力に素直に驚くと共に、地層はつながっていることや大地は隆起すること、化石によって地層ができた時の環境が想定されること等大地のつくりや化石について理解を深めていたようです。とても暑い中での地層見学となりましたが、後半には露頭のスケッチや気付いたこと等を熱心にワークシートに書き込んでいました。



9/6 富山市立広田小学校出前授業

富山市立広田小学校の6年生が、2学期から総合的な学習の時間に防災教育に取り組みます。広田小学校から、富山市のジオガイド派遣事業を活用し、動機づけとして広田地区や富山県の自然災害について話をしてほしいと立山黒部ジオパーク協会に依頼がありました。そこで、専門員2名が伺い、スライドショーを使って自然災害、特に洪水と地震、担任の先生からのリクエストで富山県特有の寄り回り波について話しました。昨日の雨で学校近くの用水があふれていたことを報告する児童や積極的に自分の意見を話す児童、疑問に思ったことを素直に質問する児童がおり、興味・関心の高さが感じられました。11月の学習発表会で学習の成果を発表するということでした。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



■ たてくろ 見どころ紹介コーナー

境一里塚 — 難所を越える旅人の安全を願う — (朝日町：朝日エリア)

国道8号の富山・新潟県境を流れる境川の左岸富山側に、エノキなどが繁る高さ約3mの小さな塚があります。これは一里塚と言い、慶長9(1604)年に江戸幕府の命により、江戸日本橋を起点に、東海道・東山道・北陸道の街道に一里(約4km)ごとに築られました。境の一里塚は、加賀藩領内最東端の一里塚で、街道の両側に目印として5間(約9m)四方に盛土して築かれ、エノキが植えられていました。今は海側の塚だけが残っていますが、江戸時代の陸上交通の様相を伝える貴重な資料です。

一里塚にたどり着いた旅人は、歩いてきた道のりを計って旅程の目安にするとともに、親不知海岸を越えてきた旅人は、その木陰で疲れを癒し、これから難所に向かう旅人は、この先の苦難を乗り越える心がまえをしたことでしょう。

境一里塚は、1965年に県の史跡となり、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



■ 協会会員企業の紹介



おかげさまで創業100周年です。

Heartfull Communication
株式会社すがの印刷

黒部市若栗2630 TEL0765-54-0112 www.sugano.co.jp



快適環境空間をめざして……



総合ビルメンテナンス業

清掃・設備・警備・環境衛生・建設

TSBC

富山総合ビルセンター株式会社

〒930-0094

富山市安住町2番14号

TEL 076-433-3200

<http://www.tsbc.co.jp>



<編集後記> 巻頭でお知らせした通り、苗場山麓ジオパークで中部ブロック大会が開催されました。このジオパークは、新潟県津南町と長野県栄町の2県にまたがる2町からなる日本有数の多雪地帯です。また、大雨の後の信濃川(長野県内では千曲川)氾濫や、2011年3月12日に発生した長野県北部地震は大きな爪痕を残しており、現在も住民の安全を守るための治水工事が行われていました。この地域はフォッサマグナの東端にあたり、ラフティングでは信濃川両岸の地層が全く違うなどのめずらしい地質・地形を見ることができました。1日目の小学生との意見交換では、自分たちが住むジオパークが大好きで、さらに参加している他のジオパークに興味を持ってくれている児童たちを目の当たりにして、とてもうれしくなりました。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

